

Point

J R東海労大阪修繕車両所分会分会情報
No. 169 2012. 11. 29.
発行責任者 乾 眞規
編集責任者 教 宣 部

ノロウイルスやその他ウイルス対策に関する申し入れを上申！

過日、マスコミや新聞紙上でノロウイルスによるとみられる感染性胃腸炎が流行の兆しをみせていると報道されていました。過去10年で最も流行した2006年に次ぐペースで患者が増加しているそうです。特に関西と九州で多い傾向にあるとのこと。例年は12月中にピークとなることから、厚生労働省は27日、感染防止策をまとめ各都道府県などへ注意喚起をしました。

私たち大阪修繕車両所においても水封装置の取り替えや洗面所の汚物処理等の作業があり、ノロウイルスやその他病原菌による感染が予測されます。

水封装置関連作業等や洗面所の嘔吐物の処理を行う場合、安心して作業が行えるように、ノロウイルスやその他感染となる病原菌から感染を予防する対策に関して以下の通り申し入れを行いました。

- (1) 会社として、水封装置関連作業や嘔吐物処理作業時のノロウイルスやその他病原菌からの感染予防対策はどのようになっているのか明らかにされたい。
- (2) 会社として、ノロウイルス、インフルエンザなどウイルス感染、集団感染予防対策についての基本的な考え方を明らかにされたい。
- (3) 鳥飼車両所でノロウイルスその他病原菌に感染した社員が発生した場合、どのような対応を会社は考えているのか明らかにされたい。
- (4) ノロウイルスなど、ウイルスに感染する恐れのある作業を行う場合、使い捨て手袋、使い捨てマスク、使い捨てエプロンなど感染防護物品を準備されたい。